

栃身連

第130号

発行所

一般財団法人
栃木県身体障害者福祉会連合会
宇都宮市若草1丁目10番6号
とちぎ福祉プラザ2階
発行人 麦倉仁巳
TEL 028-624-8408
FAX 028-624-8418

新年のごあいさつ

一般財団法人
栃木県身体障害者福祉会連合会

会長 麦 倉 仁 巳



謹んで新年のごあいさつを
申し上げます。

会員はじめ関係者の皆様には、平素から当会の各種事業にご理解、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、障害者差別解消法も施行後1年半余が経過し、徐々にはありますが障害者への理解が進みつつあるように感じます。

国においては、2年後の東京パラリンピックに向けて「ユニバーサルデザイン2020行動計画」を示し、障害の有無、男女、若老にとわれない共生社会のための「心のバリアフリー」を推進しており、栃木県においても昨年8月から「ヘルプマーク」を導入され、外見から解りづらい妊娠初期の方や内部障害・義足使用者等も合理的配慮が受けやすくなることと期待しております。

また、栃木県では、4年後に地元で開催される全国障害者スポーツ大会に向けて障害者スポーツ選手等の育成・強化や大会開催に向けての準備会を開催しているところであり、障害者スポーツを通じて障害者の社会参加と障害者への理解促進に取り組んでお

り、これらは障害に対する理解促進には絶好の機会であり、栃木版「思いやりの心」を県下全域に普及させたいものです。

そのためには、私たち当事者も啓蒙活動等を通してそれぞれの立場で自発的に障害種別ごとの障壁を県民の皆さんに理解していただく必要があり、栃身連としても引き続き会員の意見を取りまとめ、共生社会実現のための意見具申を国や県に対して行っていく所存です。

新しい年を迎え、福祉向上のため邁進する所存ですので引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに関係団体の益々のご発展と会員皆様のご多幸を祈念いたしました新年のごあいさつといたします。



第22回栃木県身体障害者福祉のつどい

平成29年12月1日
とちぎ福祉プラザ

県内各市町身体障害者福祉会の皆さまにご参集いただき、第22回栃木県身体障害者福祉のつどいを開催しました。式典ではご来賓にご祝辞を頂戴し、議事において宣言案及び決議案が満場一致をもって採択されました。第3部の講演は、NPO法人「風の詩」を拠点に、地域の人々とのつながりを活かしたソーシャルワーク実践に努めておられる永島徹氏にご講話いただきました。



※二面へつづきます

講演

思いを察することの大切さ
〜認知症ケアをとおして
みえてきたこと〜

講師 永島 徹
社会福祉士・認知症ケア専門士

1980年代から徐々に認知症ケアについて考えが改まるようになり、サービス提供者主体の介護から、認知症の人の主体を尊重したケアへと変化していきました。

認知症は病気です。高齢者ばかりでなく若くてもかかりうる病気です。もしかしたら自分も…という不安から目をそむけることなく、認知症になっても大丈夫という地域社会をともに目指していくことだと思えます。

私たちが認知症になっても安心して生活を続けていくためには、家族や地域の理解、支えが不可欠です。人と人が互いに相手を思い、支え合う関係性を保ちながら生活することを支援していくことがこれからのケアなのです。

その生活すること支援に必要なのが「思いを察する」ことです。

私たちが向き合い、大切にしていかなければならないのは「人」の思いです。思いを察するということは一方的なものではありません。相手の思いを察してかわっていいこうとする人の思いは相手にも伝わります。

施設で働いていたときのことです。人形を抱き、毎日廊下を歩いている女性のことを、私たちは彼女が重度の認知症で、まるで子どもに戻ってしまい、徘徊しているものと思っていました。そのため真に向き合うようなかかわりがで



きなかつたように思います。

なぜ彼女が人形を抱きながら歩いているのか？なぜ人形に話しかけているのか？「なぜ？」がここにはありませんでした。けれども、彼女の生活歴を知ることでも、彼女のお母さんとして生きる、その思いに気づかれました。自分を必要としていた子どもたちのために、母親としての役割を担うことで、失われつつある自分を保とうとされていたのではと察することができました。

目の前の現象だけをみていたら理解することのできなかったであろう彼女の今を生活する思いに向き合い、心を通わせていくかわりを続けていくことが彼女の求める安心につながっていくのだと思えました。

「認知症だから…」と決めつけることなく、認知症とともに生活する人の思いを察してください。言葉の背景にあるものを察してみてください。相手の思いを感じることもできるでしょう。そして、気づくことのなかった大切なものに気づくはずですよ。

最後は詩の朗読で締めくくられました。



老女になった私が人形を抱きあやすように歩き回る姿あなたは私の姿から何を感じていますか？まるで幼子に戻ってしまった…そう思っていますか？そうではありません私が抱いているのはわが子です愛おしい愛おしいわが子です私は幼子にもどったりしていません私は今も母親として生活しています生活したいと思っています



平成29年度
厚生労働大臣表彰

おめでとうございます

更生援護功労者

金 島 亀 夫 氏

栃木県身体障害者福祉会連合会理事
下野市身体障害者福祉会会長
下野市社会福祉協議会理事

金島亀夫氏は昭和58年から旧南河内町身体障害者福祉会の役員を歴任、平成3年に会長に就任されました。

下野市の合併後は市の副会長として当時の小川栄一会長を補佐し、会の運営に尽力、身体障害者相談員としても長年活躍されておられます。

平成18年からは市の社会福祉協議会理事として地域福祉の向上に貢献、また、地域の老人クラブの会長を引き受け、その発展に努めるなど、福祉全般にわたり尽力されています。

平成25年6月に市の身障者福祉会の会長就任後は栃身連理事としてもご尽力いただいております。

多年にわたるご功労に敬意を表しますとともに今後ますますのご活躍をご期待申し上げます。

第17回 全国障害者スポーツ大会

“愛顔つなぐえひめ大会”

平成29年10月28日～30日の3日間にわたり、愛媛県総合運動公園陸上競技場をメイン会場に開催され、本県からは30名の選手が出場、個人競技で金メダル10個、銀メダル10個、銅メダル12個を獲得する活躍でした。

栃木県選手団成績（身体障害者）

選手氏名	所属又は居住地	出場種目1	出場種目2	障害
		順位	順位	
しまだ たかひろ 島 田 貴 裕	作新学院大学	陸上/100m走 3位	陸上/200m走 5位	聴覚
やじま かずみ 矢 島 一 美	宇 都 宮 市	シャベリックスロー 3位		肢体
あさの としや 浅 野 俊 也	宇 都 宮 市	立幅跳 3位		肢体
あおき りゅうた 青 木 龍 太	塩 谷 町	ソフトボール投 1位	砲丸投 大会新記録※1位	視覚
きのした おゆむ 木 下 歩	県立盲学校	陸上/100m走 5位	立幅跳 2位	視覚
おおしま かみる 大 島 茄 巳 琉	佐野市立南中学校	水泳/50m背泳ぎ 大会新記録※1位	水泳/50m自由形 1位	肢体
こばなわ みき 小 埜 美 紀	益 子 町	水泳/25m自由形 1位	水泳/50m自由形 2位	肢体
よしおか まゆ 吉 岡 茉 由	県立聾学校	一般卓球 3位		聴覚
まつおか かずのり 松 岡 一 徳	さ くら 市	一般卓球 3位		肢体
ほしの ゆきひこ 星 野 幸 彦	小 山 市	サウンドテーブルテニス 1位		視覚
やの みつこ 矢 野 美 津 子	鹿 沼 市	フライングディスク アキュラシーディスリート・トファイブ 4位	フライングディスク ディスタンスレディース・スタンディング 4位	聴覚
やまだ としお 山 田 利 男	宇 都 宮 市	フライングディスク アキュラシーディスリート・セブン 1位	フライングディスク ディスタンスメンズ・スタンディング 3位	聴覚
えだ まさひこ 江 田 雅 彦	日 光 市	フライングディスク アキュラシーディスリート・セブン 4位	フライングディスク ディスタンスメンズ・スタンディング 4位	聴覚

栃木県障害者芸術展「ビューイング2018」

芸術文化活動による障害者の社会参加を促進するとともに、県民に広く障害者に対する理解を深めていただくことを目的に開催されます。

この展覧会では、県内に広く公募した中から選定した入選作品が展示されます。

[日 時] 平成30年 1月 9日(火) 13:00~16:00
 1月10日(水) 11:00~16:00
 1月11日(木) 11:00~16:00
 1月12日(金) 11:00~14:00

[場 所] 栃木県庁舎本館15階展望ロビー

[主 催] 栃木県

伸びゆく子どもたちの作品展

県内特別支援学校の幼児児童生徒が日頃の学習活動で制作した作品の展示や各学校の教育活動の紹介を通して、障害児及び特別支援教育に対する関心を高め、理解を深めていただくことを目的に開催されます。

[日 時] 平成30年 1月16日(火) 11:00~19:00
 1月17日(水) 10:00~19:00
 1月18日(木) 10:00~19:00
 1月19日(金) 10:00~15:00

[場 所] ベルモール1階 カリヨンプラザ

[主 催] 栃木県特別支援学校教育振興会

栃身連女性部主催行事 鉛筆画教室

黒鉛筆1本で静物画を描いてみませんか！
 描き方の基本を学んでみましょう。

[日 時] 平成30年 2月 3日(土) 13:30~15:00

[場 所] とちぎ福祉プラザ2階 201会議室

[参 加 費] 無料

[指 導 者] 洋画家・椎名富子先生

[申込締切] 平成30年 1月20日(土)

※詳細はお問い合わせください。

問 栃木県身体障害者福祉会連合会

平成30年度主な行事予定

行 事	開催日程
日身体障害者福祉大会 群馬県高崎市	6月14日(木)
栃木県民福祉のつどい	8月29日(水)
栃木県障害者スポーツ大会	9月30日(日)
全国障害者スポーツ大会 福井県	10月13日(土) ~15日(月)
栃木県障害者文化祭	10月下旬~ 11月上旬頃
栃木県身体障害者福祉のつどい とちぎ福祉プラザ	12月3日(月)

※日程及び開催場所が未確定の行事については次号にてお知らせいたします

JRジパング倶楽部特別会員

身体障害者手帳により購入できる乗車券以外の急行券や特急券が2~3割引で購入できる制度です。

片道100キロ以上ご利用になる機会が多い方にご加入をお勧めします。

加入資格は、身体障害者手帳所持者で、男性60歳以上、女性55歳以上の方が対象になります。

※詳細はお問い合わせください。

問 栃木県身体障害者福祉会連合会

栃身連賛助会員

栃身連の活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。ご支援をお願いできれば幸いです。

●個人会員年会費

□ 2,400円 (各市町身体障害者福祉会員)

□ 3,000円 (福祉会未入会者)

●団体会員年会費

□ 10,000円

問 栃木県身体障害者福祉会連合会

[問合せ先]
 一般財団法人 栃木県身体障害者福祉会連合会
 〒320-8508 宇都宮市若草1-10-6 とちぎ福祉プラザ内
 (TEL) 028-624-8408 (FAX) 028-624-8418
 E-mail toti-sin@juno.ocn.ne.jp

 この機関紙は
 赤い羽根共同募金配分金により発行しています

栃身連評議員として
 ご尽力を賜りました
 宇都宮市の田村正男様
 が平成二十九年十月
 二十六日逝去されました
 故人のご功績を偲び
 謹んでご冥福をお祈り
 申し上げます

訃報